

# 武道科学研究センター一年報

## 第3号(平成2年度)

### 目次

発刊のことば ●日本武道館理事長・武道科学研究センター所長 江崎眞澄

I. 武道科学研究センター運営委員会	1
II. 平成2年度(1990.4~1991.3)のプロジェクト研究について	7
(1) 武道におけるターミノロジー(人文科学系)	7
1. A Report on Technical Teams in Kendo ●leader Hisako MURAKAWA	
2. A Report on the Translation of the Gorin no Sho ●Hisako MURAKAWA, Hidesuke Osawa, Toshiharu TAKEYAMA, Reiko SHIMIZU, Katsuhiko NOGUCHI, Atsuko KURODA and Atsuhiko OYAGI	
(2) 武道思想の変遷(人文科学系)	96
1. 武道の「修行」的性格に関する研究 「無心」への道 —ヘリゲルの弓道修行に即して ●魚住孝至	
2. 『軍法侍用集』の研究 『軍法侍用集』解題 ●古川哲史	
3. 『軍法侍用集』巻第一 ●監修 古川哲史、 翻字 魚住孝至、 翻字・注解 羽賀久人	
(3) 武道体験の身心論に関する生理・心理学的研究(自然科学系)	11
—黙想研究のための脳波の活用(その2)— ●共同研究者 鷹野健次、石塚正一、佐久間春夫、田邊信太郎、 樗澤隆治、大矢 稔、杉浦正輝、伊藤金得	
1. 柔道における黙想 ●研究分担者 樗澤隆治	
2. 黙想時脳波の記述的研究 ●研究分担者 石塚正一	
3. 剣道における「呼吸」の諸問題 —実践者の立場から— ●研究分担者 大矢 稔	
4. 黙想の比較研究への視点 —瞑想・修養法・健康法との関係に基づいて— ●研究分担者 田邊信太郎	
(4) 武道における傷害の予防に関する研究(自然科学系)	33
1. 自然体の研究 —その2. 腰部障害予防の観点から ●宮腰浩一、山本利春、黄川昭雄	

2. 柔道における膝関節傷害後の早期競技復帰のための下肢筋力強化

●山本利春、黄川昭雄、春日 俊、樗澤隆治

3. 柔道における足関節テーピング法の研究

●山本利春、黄川昭雄、宮腰浩一

4. 空手の力学的研究 ●大道 等

(5)運動が生体におよぼす影響(自然科学系)

●共同研究者 成澤三雄、黒川貞生、関 和彦、山本正嘉、

石井兼輔、奥山秀雄、金久博昭…………… 55

1. 若年期での持久的トレーニングが心筋ミオシンタイプの

加齢性変化に及ぼす影響

●研究分担者 成澤三雄、黒川貞生、関 和彦

2. ハイパワーの持続能力と乳酸発生の関係

—武道、球技における乳酸発生—

●山本正嘉、石井兼輔、黒川貞生、奥山秀雄、金久博昭

Ⅲ. 武道科学研究センターを活用しての行事…………… 97